

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)
※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃげきだんげいゆうざ	団体ウェブサイトURL
制作団体名	株式会社 劇団芸優座	https://www.geiyuza.com
代表者職・氏名	代表取締役 平塚仁郎	
制作団体所在地	〒 182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4	最寄り駅(バス停) 京王多摩川駅
電話番号	042-489-4555(代)	
ふりがな	げきだんげいゆうざ	団体ウェブサイトURL
公演団体名	劇団芸優座	https://www.geiyuza.com
代表者職・氏名	代表取締役 平塚仁郎	
公演団体所在地	〒 182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4	最寄り駅(バス停) 京王多摩川駅
制作団体 設立年月	昭和47年 11月	
制作団体組織	役職員 代表取締役 平塚 仁郎 取締役 村田 里絵 平塚 奈々 川口 勝也 監査役 平塚 キク	団体構成員及び加入条件等 制作部 7名 文芸演出部 3名 俳優部 31名(他に研究生) 加入条件:18歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はオーディションで選考)
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名 村田 里絵
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 伊澤 智子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	geiyuza@mri.biglobe.ne.jp info@geiyuza.com	

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和47年に(株)総合プロモーションを設立後、舞台やTV番組の制作を始め、広いジャンルでの活動をしつつ、「面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設。以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく全国で公演を続けています。平成3年、(株)劇団芸優座と改称し、平成10年より事務所・稽古場を現在地に構えています。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演実施など、日常的な鍛錬を日々欠かしません。</p> <p>(公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等 加盟</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>令和5年度上演中の小学生向けレパートリーは7作品。「天狗山のトロップ」は昭和47年の初演以来、既に2000ステージを超え、「パパはマジシャン」は平成18年度「本物の舞台芸術体験事業」で採択されました。令和元～5年「文化芸術による子供育成総合(推進)事業～巡回公演事業」で採択された「一休さん」のほか、「グリムのハンスと大悪魔」「秘密のロビンの大冒険」「角～いじめっ子姫の物語」は好評を頂き続演中。自由な構成と新たな手法で注目された「絵本の扉～新美南吉篇」や「ママの思い出」も公演数を伸ばしています。</p> <p>令和4年度12作品の実績は全国で、コロナ禍にありながら、合同公演も含め、高校59回、中学校27回、小学校46回、教育委員会主催公演・公文協など29回。</p> <p>(別添1参照)</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり、この作品における直近の公演実績はありません。ただし、過去の実績として、それぞれ各校の実情に合わせ、先生方と共に力を合わせ、公演を成功させてきました。何より大切なのは入念な事前の打ち合わせと準備であり、結果的には公演をはじめワークショップも、ほぼ当初計画の通り実施してきました。例えば公演については、聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為の段差を観客席に設けます。また、ワークショップ・共演についても、先生と一緒に同じ役を演じて頂くなど、様々な状況に応じ、最大限可能にしたいと考えます。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/pFeRy-rzxGc (別添2参照)</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団芸優座】

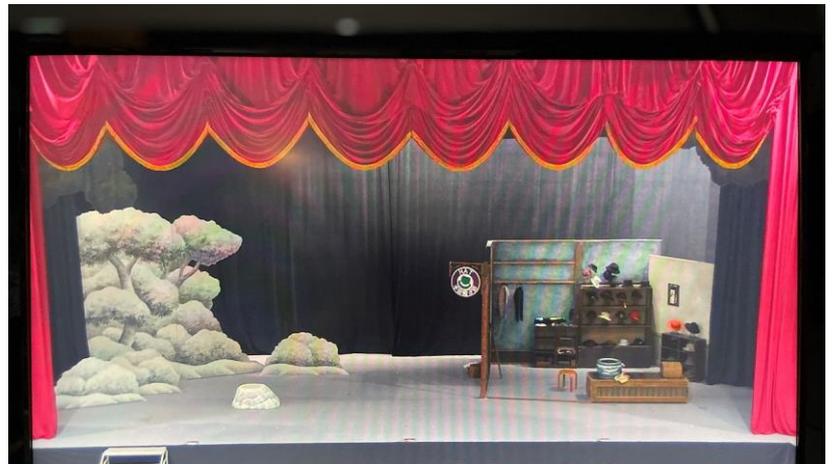
対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	日本の名作をお芝居で楽しもう！			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p style="text-align: center;">えほん とびら 『絵本の扉』 原作 新美南吉</p> <p style="text-align: center;">第一幕「手袋を買いに」 ・ 第二幕「花のき村と盗人たち」 (途中休憩10分あり)</p> <p style="text-align: center;">脚本 平塚仁郎 演出 村田里絵</p> <p style="text-align: right;">公演時間 65分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	<p>夭折の童話作家・新美南吉の名作を厳選し、オムニバスで綴ります！ それぞれ、南吉の作品を幾つか盛り込んだ、芸優座オリジナル脚本で、南吉の豊かな童話世界を描きます。本を読む楽しさと同時に、お芝居の魅力をも発見して頂きたいと発信します。体育館でつくられる美しい本格的な舞台、衣装、音楽・・・その全てにご注目ください。</p> <p>それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎次の一步を勇気をもって踏み出そうという時・・・親と子の絆をあらためてみつめます。 ◎お互いを分かり合いたいと思う時・・・自然と共に、他者と共に生きることをあらためて考えます。 ◎人に信じてもらえる喜び・・・「信じる」ことと同時にあるその意味や力みつめます。 <p style="text-align: right;">(別添2参照)</p>			
演目選択理由	<p>公演の目的に合わせて・・・生徒さんの創造力・想像力を培い、コミュニケーション能力の向上と同時に、「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを目的とした作品を選定。</p> <p>事業効果の向上を図るために・・・生徒さんと共に、保護者の皆さま方も楽しめる作品を選定。</p> <p>第三者の評価から・・・公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定。</p> <p style="text-align: right;">(別添3参照)</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>俳優として共演・・・6名が2場面に出演。衣装もメイクも本格的。エキストラにはさせません！俳優以外でも、朗読や歌での参加(数名ずつ)もできます。</p> <p>全員参加！・・・第一幕の終わり、歌で参加。第二幕では声を合わせてのセリフがあります。</p> <p>スタッフとして参加・・・場内アナウンスや裏方のお手伝いなど、チャンスは「俳優さん」だけではありません！</p> <p>その他の体験(バックステージツアーや交流会)・・・お別れのその時まで！</p> <p style="text-align: right;">(別添4参照)</p>			
出演者	西田廉義 松本和也	風間言一郎 吉澤泰平	廣田ヒロム 高杉佳美	大道沙織 横田明日香 恩田紗由香 鷹野裕美
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 10名 スタッフ: 3名 合計: 13名	運搬	積載量: バン 3t 車長: 4.99m 6.09m 台数: 2台 1台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度		
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出		
	8時	8～11時(共演生徒さんの リハーサル11～12時)		13～14時05分	10分	14時30分～16時	16時30分		
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月				
	22日	20日	18日	20日	21日				
	11月	12月	1月	計	152日				
	20日	16日	15日						
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。									
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安		7～20名程度(第一部は全校対象)			
				鑑賞人数目安		50～1000名程度			

第一幕 「手袋を買いに」



「狐の母と子」



体育館で仕込み中

いずれも、ステージのない体育館で、
フロアーに仕込むことも可能です。



「子狐は、町の帽子屋へ」

第二幕 「花のき村と盗人たち」



「花のき村にやってきた盗人たち」



体育館で仕込み中

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 劇団芸優座 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	第一部:全校生徒 第二部:6～20名程度
ワークショップ実施形態及び内容	<p>実施形態について</p> <p>第一部(45～50分)・・・全校のみなさん対象(体育館) 事前鑑賞指導・実技の体験・全体参加の練習</p> <p>第二部(6～90分)・・・共演生徒さん対象(体育館・大会議室・レクリエーションルーム等) 出演のための演技指導</p> <p>実施内容について</p> <p>●鑑賞指導 プロジェクターでの美しい映像を見ながら、作品の粗筋やテーマ・時代背景、作家の生涯についてなど、簡潔に説明します。さらに、「生の舞台芸術」を鑑賞するためのポイントについてお話しします。所要時間は15分程度です。</p> <p>●実技指導 第一部では、30分程度、俳優たちが日々実践している発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等を紹介し、実際にやってみます。最後に、全体参加の部分の練習をします。第二部では、共演する生徒さんのみを対象に、2～30分ほどウォーミングアップとして、簡単なインプロゲームをいくつか体験します。その後、「出演シーン」をプロジェクターで紹介し、イメージが湧いたところで、共演内容ごとに分かれ、お芝居など本公演ためのお稽古をします。</p> <p style="text-align: right;">(別添5参照)</p>		
ワークショップのねらい	<p>ねらい ①児童・生徒の想像力・創造力を培う ②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る ③演劇の楽しさを知り、将来の演劇の観客人口の育成を図る</p> <p>◎事前の鑑賞指導 作品の背景等を知ること、積極的で深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。</p> <p>◎一緒に動いてみよう！ 体験・共演を通じて、舞台芸術が身近になると思います。同時に、短時間に協力関係を築き、共に何かを創るという経験はコミュニケーション能力の向上に繋がります。</p> <p style="text-align: right;">(別添6参照)</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>学校のニーズに対応！</p> <p>演劇的アプローチにより、文化祭・演劇発表会のみならず、授業での発表や朗読など、様々な学校の日常のシーンにおいて「効果」を上げるための方法が体験できます。具体的には発声法その他、注意の集中、リラックスして実力が発揮できるようにするための練習など、事前の打ち合わせで学校のご希望をうかがい、プログラムを作っていきます。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名

劇団芸優座

】

①本事業に対する取り組み姿勢

人生を豊かにし、生きていく支えともなる芸術、ことに演劇と、すべての子供たちに出会って頂きたい。それは、彼らの**芸術鑑賞能力の向上と、発想力・想像力をも育む**と信じます。劇団創設以来50年、学校演劇教室・芸術鑑賞教室に携わり、作品を創り続けてきた私共の信念、経験・実績はこの事業に大いに生かせるものと確信しております。

その事業の目玉ともいべきワークショップと共演などの参加や体験は、**共に創ること、実現させることの充実感や楽しさ、喜び**を感じることでできる貴重な経験となるでしょう。それは正に**次代の文化の担い手**、芸術を享受し支えていく者を育てることにもつながると信じます。

さらに、単に学校に劇団が来て公演をするということだけではなく、学校内で先生方以外の、**信念や夢を持ってその仕事に取り組む大人の姿**として、生徒さん方の将来へのメッセージになるのではないのでしょうか。

非常に忙しい学校現場で、**演劇教室**の意義や必要性をより一層ご理解頂ける絶好の機会としても、私共の創りうる最高の舞台をご覧いれなくてはならないと思っております。

この事業を通してもたらされる「ふれあい」「発見」「協調」、そして「創造」…それらは、学校生活のほんの一頁を飾るにすぎない、学校行事の一つかもしれません。でも、特別な輝きを持つものとして生徒さんたちの心に残したい…その為に、特にワークショップの内容は、**各学校の現状に則した効果的なもの**になるよう努めます。

(別添7参照)

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

●**なにより事前の打ち合わせを大切にします**

生徒さん方に満足して頂ける、**その学校らしい体験・鑑賞にしたい**…そのために最も重要なことは、**学校それぞれの独自性や豊かな多様性**を、私共がいち早く知り、少しでも理解することだと考えています。そこで、ワークショップや公演について、担当の先生方との事前の打ち合わせを、何度でも丁寧に行います。何を指すか、どんな効果を目指するか、先生方と沢山お話をさせて頂き、「学校」と劇団が共に創る、その過程を大事にします。

◎**ワークショップについて**

その時間を安心してお任せ頂けるよう、先生方に具体的に説明いたします。その上で、ご希望をうかがい、それぞれ学校の状況に応じた、各校**オリジナリティーのある形で実現**できるよう努めます。

◎**継続的なサポート**

ワークショップから本番までの間、**共演内容**についての打ち合わせや確認、当日を楽しみにお待ち頂くための、**公演の「宣伝」**のご協力など、連絡を途絶えさせないようにします。

◎**公演について**

これまで50年にわたり体育館で公演し続けてきたそのノウハウには自信がありますが、さらに最大の効果が上がるよう、**舞台監督等が下見をさせて頂いた上で入念に計画を練ります**。

また、安全や換気について配慮し、私共の行動経路の限定、生徒さん方の入退場や座席の位置について綿密にご相談いたします。

(別添8参照)

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

リンク先	No.1	【公演団体名 劇団芸優座 】																										
学校等における 公演実績		作品ごとの、過去10年間の公演実績は以下の通り																										
		<p data-bbox="560 461 850 495"><中学校・高校向け作品></p> <table data-bbox="608 501 1005 730"> <tr> <td>ベニスの商人</td> <td>834回</td> </tr> <tr> <td>アンクルトムの小屋の灯に</td> <td>141回</td> </tr> <tr> <td>最後の一葉</td> <td>232回</td> </tr> <tr> <td>チャーホフ先生こんにちは</td> <td>69回</td> </tr> <tr> <td>それぞれの絆</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>昇らぬ朝日のあるものを</td> <td>51回</td> </tr> </table> <p data-bbox="560 775 778 808"><小学校向け作品></p> <table data-bbox="608 815 1005 1111"> <tr> <td>天狗山のトロップ平</td> <td>228回</td> </tr> <tr> <td>グリムのハンスと大悪魔</td> <td>249回</td> </tr> <tr> <td>パパはマジシャン</td> <td>152回</td> </tr> <tr> <td>秘密のロビンの大冒険</td> <td>185回</td> </tr> <tr> <td>一休さん</td> <td>398回</td> </tr> <tr> <td>角〜いじめっ子姫の物語</td> <td>356回</td> </tr> <tr> <td>絵本の扉</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>ママの思い出</td> <td>16回</td> </tr> </table>	ベニスの商人	834回	アンクルトムの小屋の灯に	141回	最後の一葉	232回	チャーホフ先生こんにちは	69回	それぞれの絆	25回	昇らぬ朝日のあるものを	51回	天狗山のトロップ平	228回	グリムのハンスと大悪魔	249回	パパはマジシャン	152回	秘密のロビンの大冒険	185回	一休さん	398回	角〜いじめっ子姫の物語	356回	絵本の扉	36回
ベニスの商人	834回																											
アンクルトムの小屋の灯に	141回																											
最後の一葉	232回																											
チャーホフ先生こんにちは	69回																											
それぞれの絆	25回																											
昇らぬ朝日のあるものを	51回																											
天狗山のトロップ平	228回																											
グリムのハンスと大悪魔	249回																											
パパはマジシャン	152回																											
秘密のロビンの大冒険	185回																											
一休さん	398回																											
角〜いじめっ子姫の物語	356回																											
絵本の扉	36回																											
ママの思い出	16回																											

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団芸優座	】
演目概要	<p>あらすじ</p> <p>第一幕 「手袋を買いに」</p> <p>ある雪の日、母狐は、いつまでも甘えん坊の子狐に、いつかは独り立ちしなくてはならないことを教えようと思いつき、怖い人間が住んでいる町まで、坊や一人で手袋を買いに行かせることにします。母狐は子狐の片方の手だけ「人間の手」に変え、お店での買い物のしかたを教え、子狐は勇気を奮い立たせ出かけますが……はたして手袋は無事に買えるでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">（「狐」「手袋を買いに」より）</p> <p>第二幕 「花のき村と盗人たち」</p> <p>花のき村に5人の盗人たちが一仕事しようとやってきた！ でも、かしら以外は全員ド素人で、みんな前の仕事の癖が抜けきれず、まともに下見すらできない始末。子分たちを叱りつけ、再び村へ行かせます。すると、かしの元に突然小坊主がやってきて、とんでもないことを頼み込んだかと思うといなくなってしまう。そのうえ、今度は白髪の老女が現われて……。やがて帰ってきた子分たちは、かしの様子がおかしいことに戸惑いますが……はたして、花のき村の運命はどうなるのでしょうか。</p> <p>★公開資料について…公開されている「絵本の扉～新美南吉篇」の構成は、「プロローグ」の後、第一幕「手袋を買いに」 第二幕「うた時計」 第三幕「花のき村と盗人たち」となっています。</p> <p>テーマについて</p> <p>明快で共感できるテーマがあります！</p> <p>◎ 全編を貫く「親子の情」…</p> <p>新しい世界へ飛び込んで行こうという時、近くにも遠くにも、見守る親の眼差しはきっとすぐ近くある。そして、それさえあれば、自分を信じ、勇気をもって一歩踏み出せるに違いありません。それはどんな時代でも、大人になっても変わらないのではないのでしょうか。この物語を通じて、どんな時も自分を信じてくれる人の存在のあることを、忘れずにいて欲しい…そんな願いを込めて演じます。</p> <p>◎ 第一幕から 「人間っていいものかしら…」</p> <p>この母狐の一言は、自然との共生への思いを象徴しているように思えます。また同時に、他者と分かり合うことの難しさも表しているようです。狐の親子も人間の親子も、その愛情に変わりはないというのに…。</p> <p>またこれは、かつて怖い思いをしたゆえの一言であるわけですが、首尾よく手袋を買うことのできた子狐が、「人間は親切だ」と言うのに対して、自分の考えを押し付けるのではなく、むしろ自分を疑っています。そんな、南吉の柔らかい心のありようも感じてほしいと思います。</p> <p>◎ 第二幕から 人に信じてもらえる喜び！</p> <p>生まれながらに悪い人はいないという南吉の思いは、きっと人はみな、美しい心には美しい心で応じたいのだと信じることに通じると思います。盗人のおやかたのように、誰かに信じてもらえる喜びは、生き方そのものを変える力がある、そのことを知ってほしいと思います。</p> <p>★美しい日本語の世界</p> <p>幕が上がると舞台には、かつて日本中どこにでもあった美しい情景が広がります。人間も狐や動物たちも、それぞれの絆を大切に日々を丁寧に生きていました。新美南吉が描く、そんな忘れかけた日本の姿、その美しい日本語を味わい、発見して頂きたいと思います。それがまた、日本の自然や文化を今一度見つめなおすきっかけになると信じます。</p>			

リンク先	No.2	【公演団体名 劇団芸優座 】
<p>演目選択理由</p>	<p><公演の目的に合わせての作品選定></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ この作品は、演劇としての「観る楽しさ」と共に、その体験をもとに、活動を様々な方向に広げ、深めていくことができます。まずは、新美南吉の原作に触れて頂くことを強くお勧めし読書体験との相乗効果を実感して頂きたいと思います。さらに他の作品の面白さを発見したり、さらに、たとえば作者や時代背景について調べることが、作品の理解を深めることを経験したり、その「調べること」そのものの楽しさをも知る機会にして頂ければと願っています。 <p>また、ワークショップでは、発声やリラックスと集中の練習など、文化祭や発表などだけでなく、日常の学校生活でも、具体的に役立てて頂けるような取り組みもします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象を「小学生低学年から中学生」としていますが、それぞれの年齢層に響く深いテーマがあることと、芝居に見応えがあり小学校1年生から大人まで、楽しく、しっかりと鑑賞して頂いている実績があります。 <p><事業効果の向上を図るために></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観劇後、みんなで考え、語り合おう…どちらの作品にも、ふと誰かの温かい手を思い出す瞬間があると思います。生きる世界も時代も違うけれど、あらためて親子の絆をみつめなおして頂きたい。そして、恐れることなく人を信じ、恐れることなく新しい世界へ飛び出して行ってほしい、そんな願いのもと、この作品は制作されました。文字通り、「子供から大人まで」観劇した人みんなで、深く考えたり語りあえる作品です。 <p><第三者の評価から></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも、いずれの作品も高い評価を得ています。令和5年度は、中学生向け5作品から、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定しました。 ○ 初演以来、全国の小・中学校や鑑賞会等、多くの方々をご覧下さり、ご好評を頂いています。「体育館を劇場に」と、あくまでもオーソドックスであることに拘った美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかり感じて頂けるものと信じます。また平易で分かりやすいセリフと、童話の世界を損なうことなく表現する動きで、低学年の生徒さんも十分楽しめます。 	

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団芸優座	】
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p style="text-align: center;">「共演」「参加」「体験」の具体的なプランについて</p> <p>舞台芸術は観客と共に創るもの…そこへ向かうことが「体験」の根幹と考え、だからこそ、「共演」を大事な手段として選びます。友達が舞台上に登場すれば、舞台がさらに身近に感じられるでしょう。また、共演などを体験して下さった生徒さん方は、この経験が、これから舞台芸術の世界を目指すきっかけになったら…そう願っています。</p> <p>俳優として共演</p> <p>生徒さん(先生でも可)6名程のご出演を想定していますが、希望人数によって様々なアレンジはアレンジは可能です。勿論、学年・男女・経験は問いません。</p> <p>基本の出演シーンは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第一幕 甘えん坊の子狐を笑う友達として 1～2名 ● 第二幕 小坊主を誘いに来る村の子供たちとして 2～4名 <p>さらに、ご希望が多い場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第一幕 子守歌を歌って出演 数名(1名は子守姿になります) ● 舞台転換中、原作の一節を朗読をする「朗読者」として出演 数名 など <p>簡単なセリフと動きを覚え、朗読や歌の練習をして頂きますが、一番大事なことは「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂くことです。単なるエキストラではなく、衣装もメイクもきちんとして頂き、あくまでも共演者として、出演して頂きます。終演後は扮装のまま記念撮影をします。</p> <p>(共演する生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています)</p> <p>全員で体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第一幕の終わり、子守歌等を事前に選び、一曲全員で歌います。 ● 第二幕、「村人」として声を合わせ、みんなでセリフを言います。 (いずれも、ワークショップの時に練習をします。) <p>スタッフとして参加</p> <p>劇中の演出効果を高めるための手伝いや、開演前や幕間のアナウンス、小道具・衣装の確認・管理や舞台転換の手伝いなど、舞台の裏方の仕事も2～4名体験できます。舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。</p> <p>リハーサル中には、他の共演者と共に、舞台転換の様子を見ながら説明が聞け、舞台の仕組みなど知ることができます。</p> <p>演後の体験として</p> <p>舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後のバックステージツアーや、俳優達との交流会などが実施可能です。また、条件次第ではばらし作業の見学や「お手伝い」もできます。「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>カーテンコールの練習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ばらし作業の手伝い</p> </div> </div>			

リンク先	No.3	【公演団体名	劇団芸優座 】
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p><当劇団のワークショップの目的></p> <p>①児童・生徒の想像力・創造力を培う ②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る ③将来の演劇観客人口の育成を図るため「演劇の楽しさ」を知ってもらう</p> <p><ワークショップの具体的なプラン></p> <p>①鑑賞指導… 全校生徒の皆さんを対象に(20分程度)</p> <p>まずは、作品の粗筋やテーマ・見所、舞台となる街の当時の風景や時代背景、さらに作家の生涯についてなどなど、プロジェクターでの美しい映像を見ながら簡潔に説明します。その結果、本番を心待ちにして頂けますし、当日の観劇体験がより豊かになると同時に、作品に対しても深い理解と感動が得られます。</p> <p>②実技指導…</p> <p>1) 全校生徒の皆さんを対象に(25分程度)</p> <p>続いて、俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等一緒にやってみます。この時、劇団員が生徒さんたちの間に入っていきますので、すぐそばで舞台の声を聞きながら体験できます。さらに、生徒さんの日常生活に役立つ演劇訓練として、たとえば、人前で上がらずに発表したり、自分らしいパフォーマンスができるようになるための「リラックスと集中」の訓練を紹介します。</p> <p>2) 共演する生徒さんを対象に(30分)</p> <p>それぞれの「出演シーン」のお稽古の前に、そのウォーミングアップとして、コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現することの面白さ等を経験して頂くことを最大の目標として、簡単なインプロゲームを楽しみます。「ミラーゲーム」「わたし・あなたゲーム」「震源地ゲーム」、状況に応じていくつかのプログラムを選びながら目的をはっきりもって、意識的に動いて頂ける動いて頂けるよう工夫しています。続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるシンプルで簡単なエチュードなど、演技するための具体的な訓練を体験します。</p> <p>③共演の練習…(60～90分)</p> <p>いよいよ最後に、「出演シーン」ごとに分かれ、お芝居のお稽古をします。事前に出演台本・楽譜・公演のDVD等お送りしますが、特に予習をして頂く必要はありません。まず、本番のDVDを観ながら、各役のおかれている状況を説明をした後、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイデアを大切にしながら、その役について研究します。ここまでで既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードでお稽古は進みます。本番前の緊張も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が自信をもって当日を迎えられるよう配慮します。最後に、衣装合わせと打ち合わせ(メイクは当日のみ)をして終了です。(当日もリハーサルがあります)</p> <p>☆「俳優さん」以外をご希望の生徒さん方も、②までは一緒に参加して頂きますが、その後はそれぞれ分かれ、「スタッフ」役の生徒さんは、舞台や大道具についての説明を受けた後、役割分担をし、「効果」などの練習をします。「歌」や「朗読」をご希望の生徒さん方は、事前に配布された楽譜・原稿をもとに練習したり舞台への出入りを確認します。</p>	 <p>プロジェクターで写真を見ながら、作品の解説を聞いています。</p>  <p>舞台の上で、立ち位置を確認します。</p>	

リンク先	No.3	【公演団体名 劇団芸優座 】
ワークショップ のねらい	<p style="text-align: center;">◎事前の鑑賞指導について</p> <p>観劇前に、わずかでも作品の背景を知ること、本番当日、積極的で深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。また、そもそも舞台芸術が「観客」と共に創造していくものであるという事を、この事業を通じて「体験」して頂きたいと願い、「生の舞台芸術」鑑賞のポイントについてお話をさせていただきます。</p> <p>何より、楽しかったというその体験こそが、将来の良き「観客」、そして「担い手」を生み育むと考え、ワークショップの段階から、豊かな時間となるよう工夫します。</p> <p style="text-align: center;">◎学校のニーズに対応します！</p> <p>第一部の全校向けの演劇体験では、ご希望によって、発表会・文化祭・演劇部など、まさに今、学校が必要とされていることについて、具体的にアドバイスやご指導をさせて頂くことも可能です。これまで、効果的な発声練習や舞台上で上がらない方法、集中の仕方、あるいは演出上の工夫などについて体験をして頂きました。さらには、朗読や発言・発表などでの話し方、大勢で声を合わせるコツなども、効果を上げる具体的な手法を体験して頂くこともできます。</p> <p style="text-align: center;">◎とにかく、一緒に動いてみよう！</p> <p>共演を通じて、舞台芸術が身近になり、さらに深く興味を持って頂きたいと願っています。そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解き放ち、自分を表現する事の喜びや、他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜びを経験して頂きたいと思います。</p> <p>また、その為に必要な信頼関係を短い時間で築く方法として、まずは、一緒に動くことから始めるのですが、その経験こそ、コミュニケーション能力の向上につながると思います。</p> <p>実施後、先生方から、「生徒たちの、これまで学校や授業では見せたことのない顔が見られた」「思いがけない生徒が参加を希望し、生き生きと活動し、驚かされた」といったお声を頂くことが度々あります。この事業におけるワークショップの大きな意義がここにもあると思います。</p>	

リンク先	No.4	【公演団体名	劇団芸術座 】
<p>本事業への 申請理由</p>	<p>事業に対する取り組み姿勢</p> <p>いわゆる芸術が、生きていく上での大切な支えになると同時に、人生を美しく豊かにする事は言うまでもありません。一人で生きる時も人と生きる時も、その為に必要な知恵や勇気や想像力は、演劇から得られると信じます。そんな演劇と、子供たちの日常である学校の時間の中で、しかも、身近な体育館という場で出会って頂きたい。そしてそれは、確実に子供たちの芸術鑑賞能力の向上につながり、さらには、発想力・想像力を育むと信じます。</p> <p>私共は劇団創設以来40年以上、学校演劇教室・芸術鑑賞教室に携わり、生徒・児童のための舞台・演劇作品を創り続けてきましたが、それゆえ、殊に体育館での上演には拘りを持って来ました。私共が持つ信念、経験・実績は、この事業のためにも生かせるものと確信しております。</p> <p>また、この事業の目玉ともいべきワークショップと共演ですが、事前交流と鑑賞指導は、非常に積極的で深い鑑賞につながり、さらに、同校の生徒さんや先生方が共演するということが、芸術そのものを身近にし、本番を益々楽しみなものにします。また、演劇とは何かを知ること、実技を体験することは、将来の俳優や舞台芸術にかかわる芸術家を生むきっかけとなり得、意味深いものですが、たとえ短い、部分的な場面であっても、共に創りあうこと、実現させることの充実感や楽しさ、喜びは大変貴重な経験になるでしょう。それはまさに次代の文化の担い手、芸術を享受し支えていく者を育てることにもつながると信じます。ワークショップや共演の内容においても、その経験が子供たちのコミュニケーション能力の向上そのものにも資する様、常に反省と工夫をし、生きたものにするべく努力します。</p> <p>さらにこの取り組みは、単に学校に劇団が来て公演をするということだけではなく、大人の、プロの役者が、設営から上演・撤収までをお見せすることで、つまり、学校内で先生方以外の、信念や夢を持ってその仕事に取り組む大人の姿として、生徒さん方の将来へのなんらかのメッセージになるとも信じます。</p> <p>非常に忙しい学校の現場で、演劇教室の意義や重要性・必要性をご理解頂き、先生方と共に、それを創り上げることが、単独の劇団の努力だけでは益々難しくなっている昨今、この事業は、学校にあらためてそれを具体的に感じて頂ける絶好の機会になっています。そして、最大限そのチャンスを生かすためには、何よりもまず第一に、私共の創りうる最高の舞台をご覧いれなくてはならない、一期一会の出会いとの覚悟をもって日々最善を尽くさなくてはならないと思っております。</p> <p>この事業を通してもたらされる「ふれあい」「発見」「協調」、そして「創造」・・・それらは、学校生活のほんの一頁を飾る、数ある学校行事の中の一つにすぎないかもしれませんが、でも、特別な輝きを持つものとして生徒さんたちの心に残したい・・・その為に、特にワークショップの内容は、各学校の現状に則した効果的なものになるよう努めます。</p> <p>また、今後、学校と共に、保護者の方々をも巻き込んでいけるような「行事」になっていけば・・・その為に何が出来るか、そのことも常に考えてまいりたいと思います。</p> <p>この事業によって、ただ公演して終わりではない、そんな演劇教室の可能性が大きく広がったと同時に、生徒さん方に芸術との出会いの場を創る事は、私共にとっては使命であると同時に喜びでもあることを再認識させて頂きました。そのことに深く感謝すると共に、その一端に携わることが出来ればこの上も無い喜びです。</p>		

リンク先	No.4	【公演団体名	劇団芸優座	】
本事業への 申請理由	②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫			
	<p data-bbox="480 472 927 504">なにより事前の打ち合わせを大切にします</p> <p data-bbox="480 548 1385 640">生徒さん方に満足して頂ける、その学校らしい体験・鑑賞にしたい・・・そのために最も重要なことは、学校それぞれの独自性や豊かな多様性を、私共がいち早く知り、少しでも理解することだと考えています。</p> <p data-bbox="480 651 1385 743">そこで、ワークショップや公演について、担当の先生方との事前の打ち合わせを、何度でも丁寧に行います。何を指すか、どんな効果を目標にするか、先生方と沢山お話を させて頂き、「学校」と劇団が共に創る、その過程を大事にします。</p> <p data-bbox="528 788 1273 853">★まず文書で、ワークショップと本番の公演の内容、学校側にご準備頂く事や会場条件などを、出来るだけ具体的にお知らせします。</p> <p data-bbox="528 864 1225 929">★その後、電話・メール等で疑問点や必要事項をうかがい、それを基に、ワークショップの実施前に、直接お目にかかって打ち合わせをします。</p> <p data-bbox="539 1019 783 1050">◎ワークショップについて</p> <p data-bbox="539 1061 1305 1176">その時間を安心して劇団の担当者・指導員にお任せ頂けるよう、先生方にはできるだけ具体的に説明させて頂きます。その上で、ご希望をうかがい、それぞれ学校の状況に応じた、各校オリジナリティーのある形で実現できるよう努めます。</p> <p data-bbox="539 1232 740 1263">◎継続的なサポート</p> <p data-bbox="539 1274 1305 1422">ワークショップから本番までのおよそ一か月間は、先生方のご協力とご指導等をお願いする部分が多くなりますが、引き続き、共演者のお稽古についての打ち合わせや確認をしたり、生徒さん方に当日を楽しみにお待ち頂ける様、公演の「宣伝」のための材料やノウハウのご提供をしたり、連絡を途絶えさせないようにします。</p> <p data-bbox="539 1476 699 1507">◎公演について</p> <p data-bbox="539 1518 1305 1610">これまでおよそ50年、体育館で公演し続け、蓄積されたノウハウには自信があります。さらに、各々の体育館の条件の許す限り、最大の効果が上がるよう、舞台監督等が下見をさせて頂いた上で入念に計画を練ります。</p> <p data-bbox="539 1621 1305 1686">また、安全や換気について配慮しながら、生徒さん方の入退場や、座席の位置についてご相談することは、体育館公演では必須であると考えています。</p>			